

大田区立郷土博物館では、考古、歴史、民俗資料など豊富な資料を展示しています。

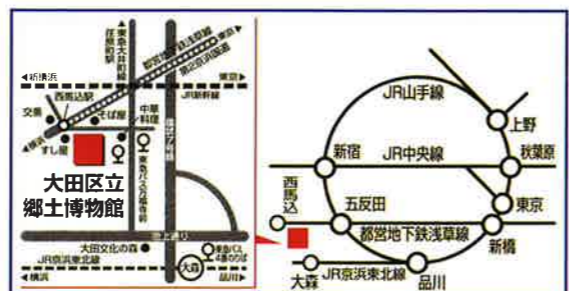
「馬込文士村」など常設展示のほか特別展や体験学習も行っています。

- 開館時間 午前9時から午後5時
 - 休館日 月曜日(祝日は開館)、年末年始
 - 入館料 無料
 - 住所 大田区南馬込5-11-13
 - 電話番号 03-3777-1070
- ※9月6日(土)～10月19日(日)「馬込文士村特別展」開催

<アクセス>

電車でお越しの場合:

- JR京浜東北線大森駅北口改札
山王方面東急バス4番乗り場「荏原町方面行き」
で「万福寺」下車徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線「西馬込」下車徒歩7分



PICK UP 「赤毛のアン」の翻訳者
村岡 花子とは?

NHK連続テレビ小説「花子とアン」のモデルとなった村岡花子。明治26年に生まれ、大正8年に結婚後、新宿(現大田区中央)に住むようになり、生涯この地に居住しました。カナダ人宣教師から贈られた「Anne of Green Gables」を戦時中に翻訳し、昭和27年に「赤毛のアン」として出版しました。その後も多くの英米文学作品を翻訳し、翻訳家、童話作家として知られています。

大田区「花子とアン」推進委員会

大田区では「花子とアン」の放送を大田区の観光・文化のより一層のPRと地域の活性化を図る機会と捉え、地域の方々や観光・文化関係機関と連携し、さまざまな取組みを進めていく場として設置されました。4月以降、展示会や、まちあるきなど様々なイベントを展開しています。さらに詳しい情報はこちらをご覧ください!

http://city.ota.tokyo.jp/kanko/hanako_m/index.html

大田観光協会

大田区の魅力を発信するためにさまざまな活動をしています。ホームページやフェイスブックで情報更新中! (<http://www.o-2.jp/>)



写真提供「赤毛のアン」記念館・村岡花子文庫

イベント情報

「村岡花子が暮らしたまち大森」を開催中。
村岡花子関係の展示や、その時代の大森や馬込の紹介展示など。～9/27まで。

場所:大田文化の森(大田区中央2-10-1)
アクセス:JR京浜東北線大森駅西口から東急バス池上方面行き(蒲田駅、池上駅、洗足池行等)で大田文化の森(バス停下車徒歩約1分)



つるつるすべすべ美肌の湯

適應症
神経痛、関節痛、やけど、
きりきず、虚弱児童、慢性
皮膚病、慢性婦人病、慢性
消化器病、冷え症、その他

「旅するひと」のすぐ近くにありま。

大田区
TOKYO, JAPAN
大田区魅力紹介展示
大田区の観光・ものづくり・文化
まるわかり展示

- 展示タイトル: 大田区魅力紹介展示「大田区の観光・ものづくり・文化 まるわかり展示」
- 共催: 大田区・(公財)特別区協議会
- 協力: 大田区立郷土博物館、(一社)大田観光協会、「下町ボブスレー」ネットワークプロジェクト推進委員会
- 開催期間: 5/8(木)～5/29(木) 平日 9時～20時30分 土曜日 9時～17時 ※日曜日を除く
- 展示会場: 東京区政会館1階エントランスホール(千代田区飯田橋3-5-1) JR・東京メトロ 飯田橋駅下車

大田区魅力紹介展示 大田区の観光・ものづくり・文化 まるわかり展示

大田区は、日本の玄関口である羽田空港を有し、交通アクセスが充実していることから、さまざまな国の方が訪れます。東京の縮図ともいわれ、豊かな自然、貴重な歴史や文化、商店街のにぎわい、世界に誇る高い技術力など、多彩な魅力を体感できるまちです。

歴史・文化

約700年の歴史を持つ日蓮宗大本山の池上本門寺や、大正から昭和初期に多くの文士や芸術家が好んで移り住んだ「馬込文士村」など。文士村は版画家として世界的に知られる「川瀬巴水」や、「赤毛のアン」の翻訳者・村岡花子も住んでおり、華やかな文化が形成されました。馬込エリアには散策ルートや記念館があり、当時の雰囲気を感じることができます。



川瀬巴水「馬込の月」

ものづくり

大田区は、世界でも有数のものづくり企業の集積地です。高度な技術力や技能を有する企業や職人たちがものづくりを支えています。「下町ポプスレー」では、大田区の町工場等が共同で国産ポプスレーを開発し、冬季五輪を目指しています。



ポプスレー※実機展示あり（5月28日まで）

自然・水辺

大田区は多摩川を始めとした豊かな自然に囲まれたエリアです。桜の名所である洗足池公園や、アウトドアを楽しめる海浜公園などがあるほか、ふるさとの浜辺公園で行われるカヌー教室など、水辺に親しむイベントも多く行われています。都内にいながら、豊かな自然にふれあえるスポットが多くあります。



にぎわい・銭湯

大田区には活気あふれる下町人情の商店街がたくさんあります。商店街の数・バリエーションは東京都内屈指！大田区を歩き、自分だけのお気に入りを見つけてみてください。大田区内には、約50の銭湯があり、そのうち約半数が黒湯と呼ばれる温泉です。さまざまな特徴をもつ大田区の銭湯で、銭湯めぐりはいかがでしょうか？



食

大田の美味をご堪能あれ

大田区には、バリエーション豊かで美味しい食が揃っています。魅力の食の数々を、どうぞ召し上がれ。



羽根付き餃子

大田区の名物といったらこれ！蒲田の名物として大人気の羽根付き餃子です。パリパリの「羽根」の食感がたまりません。蒲田には羽根付き餃子を食べることができるお店が数多くあり、お店によってさまざまな味のバリエーションが楽しめます。水に溶いた小麦粉を焼いた「羽根」の軽やかな食感が魅力です。



東京大田汐焼きそば

地域のまちおこしから生まれたご当地グルメの花である梅やあさりなど、大田区にゆかりの10種類の具材を使った汐焼きそばは、まちおこしのために開発されたご当地限定メニュー。区内でも認定を受けたお店でのみ提供されています。モチモチした麺と塩ダレがマッチした逸品です。



海のめぐみ

東京湾に面している大田区は海産物とゆかりが深く、また大田市場には毎日新鮮な魚介類が届くため、さまざまな海のめぐみを堪能できます。中でも、地元の素材を活かした佃煮や、サクサクの穴子天ぷらに甘ダレをかけた穴子天重は逸品です。

大田のスイーツを
召しあがれ
大田区商店街連合会が認定する
「おおたの逸品」の中から
おおたのお土産をご紹介します



年間を通して思わず行きたくなる イベントや名所がめじろ押し。

イベント情報



1月 子ども流鏝馬

六郷神社で毎年1月7日、子どもの成長と健康を祈願して行われる行事です。武家装束をまとった男児が木馬にまたがり、4対の目が描かれた的を射抜きます。東京都の無形民俗文化財。六郷神社【住】大田区東六郷3-10-18【交】京急本線「六郷土手駅」より徒歩約8分



7月 羽田神社夏季例大祭

羽田神社と周辺エリアで、7月最後の土・日に行われる夏季大祭です。日曜日には、数十基の神輿が街に繰り出し、担ぎ手だけで3千人、3万人を超える見物客が集まります。「ヨコタ」と呼ばれる独特の担ぎ方が特徴的で、神輿を左右90度近く倒し大きくローリングしながら進み、左右の人が交互に飛び上がる逞力のある様子を観望に観ることが出来ます。羽田神社【住】大田区本羽田3-9-12【交】京急空港線「大鳥居駅」より徒歩約5分



7月 水止舞

厳正寺で700年以上前から伝わる舞で、毎年7月14日に披露されます。龍神役の若者が雲のかごに入り、地面に転がされて水を浴びながらも法螺貝を吹く姿や物語調に進む獅子舞が有名です。東京都無形民俗文化財でもあります。厳正寺【住】大田区大森東3-7-27【交】京急本線「大森町駅」より徒歩約9分



10月 池上本門寺 お会式

日蓮聖人を偲び、10月11日から13日の3日をかけて行われるお会式。万灯練供養が行われる12日の夜は、約30万人の参拝者が集まります。池上本門寺【住】大田区池上1-1-1【交】東急池上線「池上駅」より徒歩約10分



5月 春宵の響

洗足池公園の「池月樓」で毎年5月に行われる演奏会。洗足池に浮かぶ船や池月橋の上で奏でられる和楽器の美しい調べを楽しむことができます。洗足池公園【住】大田区南千束2-14-5【交】東急池上線「洗足池駅」より徒歩約2分



8月 花火の祭典

大田区の平和都市宣言を記念して開催される花火大会で、毎年、終戦記念日の8月15日に実施されます。多摩川沿いで打ち上げられる花火の迫力は圧巻です。約5000発の花火は大田区の夏を彩るパーフェクトです。六郷土手【住】大田区西六郷4番地先【交】京急本線「六郷土手」より徒歩約5分



11月 酉の市

11月の「酉の日」に合わせて、福を呼び込む縁起物の熊手が売り出されます。また沿道には100以上もの露店が並び、大森鷲神社から商店街にかけて、大勢の人でにぎわいます。大森鷲神社【住】大田区大森北1-15-12【交】JR京浜東北線「大森駅」より徒歩約6分